

学校教育における野外教育の充実を目指して



千葉市少年自然の家
事業副主任 植松 基

野外炊飯で「カレーライス作り」を実施しようとする時、「カレーライスを作る」という体験そのものが大事なのか、「カレーライスを作る」ことによって子供達が力を出し合うことが大切なのか。体験することだけを目的化してしまつた「体験」だけ「学習」に陥っている場面を見たことがありません。指導者は予定したプログラムを時間通り消化していくことを優先し、「カレー作り」を通して子供達の関わり合いの中で起こっている相互作用に気づいていませんでした。

野外教育の三つの教育的効果とは、①他者との関係(自己と自己を取り巻く人との関係)、②自己との関係(自分自身をどう見るか)、③自然との関係(自然に対する態度)と言われています。ここの少年自然の家では、千葉市の小学校をはじめ、養護学校や特殊学級、一部の中学校が自然体験活動や集団宿泊活動などの形で野外教育を実施しています。特に公立校ゆえに様々な要因で恵まれない環境の子どもたちにおいても、自然との触れ合いや人間的触れ合いを求め、野外教育を、充実した施設と指導者の下、平等に安価に受けられることは大変意義深いことです。

今日、学校教育を巡っては、いじめ問題や登校拒否児童生徒への対応など、生徒指導上の課題に加え、国際化、情報化、科学技術の進展、環境問題等社会の変化に対応する教育の充実が求められています。したがって、今後これら教育の課題に対応するために、学校行事としての集団宿泊活動などに限らず、各教科等の枠を超えた体験的な学習の場として活用できる場を目指したいと考えています。

情報BOX

<アトラティブウィークエンド>

千葉市少年自然の家では毎週末、明るいスタッフたちが周辺の自然や施設を生かした楽しいプログラムをご案内しています。ご家族連れでご参加下さい!

<プログラム開始(予定)時間(各90分以内)>

土曜日：午後3時30分～
午後7時30分～
日曜日：午前9時30分～

<お申込み>

チェック・インの際、プログラム内容をお確かめの上サービスセンターでお申込み下さい。申し込まれていない方は参加できません。

ご注意

- ・定員になり次第、締め切らせて頂く場合があります。
- ・プログラムは天候、季節、他団体の利用、施設点検等によって予告なく変更や中止する場合があります。
- ・対象は宿泊される家族連れの方です。団体や日帰り、施設見学の方は申し込み出来ません。
- ・プログラムは内容によって有料の場合があります。
- ・子どもだけの参加は出来ません。
- ・開始時間が経過したプログラムはお申込みは出来ません。
- ・プログラム中に起きたいかなる事故や怪我の責任は一切負いません。

		開催(予定)日	プログラム内容
8月		6日(土)～ 7日(日)	ネイチャーゲーム、シネマ、アニメ工作
		13日(土)～17日(水)	クライミング・ウォール、ナイトハイク、竹細工、キャンプファイアーショー、木工クラフト、火おこし体験、シネマ、田んぼスタディ
		20日(土)～21日(日)	クライミング・ウォール、ナイトハイク、竹細工
		27日(土)～28日(日)	アニメ工作、クライミング・ウォール、田んぼスタディ
9月		3日(土)～ 4日(日)	自然体験プログラム、アーツ&クラフト、施設活用プログラム等
		10日(土)～11日(日)	
		17日(土)～19日(祝)	
		23日(祝)～25日(日)	

<ボランティア募集>

少年自然の家では、農作業・プログラム指導・自然環境の整備など様々な活動をお手伝いいただくボランティアを募集しています。興味のある方は、ぜひご参加下さい。

10/22 収穫祭(仮)

詳細は次号でお知らせします。

お問い合わせは0475-35-1131まで

折々の記

夏休みは団体・家族利用が主で普段と違う装いだ。来所する子どもたちは先生に引率され、学校として来るときと明らかに顔がちがう。緊張の糸が一緩い。元気が家庭の色である。願わくはこどもはこどもで、どこまでも無邪気であってほしい



松が丘小学校の農山村留学でカカシを作りました。穂の出始めた田んぼを力強く見守っています。(写真上)

千葉ではザリガニのことを「まっかちん」と呼びます。田んぼでは、スルメや煮干しを使って、「まっかちん」を釣り上げようと必死にがんばる子ども達がたくさんいます。(写真右)

自然の家の一コマ

